別記様式第3号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
木材統計

平成　年　木材統計調査

合単板月別調査票

平成　年　月分

政府統計　統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

地方農政局等名	
工場番号	

担当者名

この調査は、農林水産省で実施している木材統計調査の一環として行うものであり、木材生産についての実態を把握して林業行政の基礎資料を作成することを目的としています。
この調査票は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。

法人番号（法人番号を確認いただき、記入してください。）

1　単板製造用素材について記入してください。

単位：m^3

区分	月初在庫量	入荷量	消費量	月末在庫量
合計				
国産材				
輸入材				

（注）素材の販売量は、入荷量から差し引いてください。

2　普通合板について記入してください。

単位：m^3

区分	月初在庫量	入荷量	生産量 6mm未満	生産量 6～12mm未満	生産量 12～24mm未満	生産量 24mm以上	生産量 合計	出荷量	消費量（特待合板用）	月末在庫量 計	月末在庫量 普通合板用	月末在庫量 特殊合板用
合計												
うち針葉樹												
うち構造用												

3　普通合板のうち、次の品目の生産量を記入してください。

単位：m^3

コンクリート型わく用合板		構造用合板
	うち針葉樹	

（注）各品目は、それぞれ普通合板の内数として記入してください。

4　特殊合板について記入してください。

単位：m^3

月初在庫量	生産量	出荷量	月末在庫量

（注）製造したものが特殊合板に該当するか判断しかねる場合は、農林水産省の担当者にお問い合わせください。

（備考欄）主な調査項目の増減理由について記入してください。

注：1　入荷量には、購入又は自社他工場から受け入れた量を記入してください。
2　生産量には、自工場分のみ記入し、自社他工場分等は入れないでください。
3　出荷量には、出荷先がどこであっても自工場から一旦搬出された普通合板の全てを記入してください。
4　月末在庫量には、自工場内の在庫量のみを記入してください。
5　単位未満は四捨五入して記入してください。
6　普通合板
（1）消費量（特殊合板用）には、自工場での消費量のみを記入し、自社他工場分は入れないでください。
（2）針葉樹には、全針葉樹合板のみを記入し、複合合板は除いてください。

御協力ありがとうございました。

月　日までに下記宛てに送付してください。

別記様式第2号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
木材統計

平成　年木材統計調査

製材月別調査票

（平成　年　月分）

政府統計

4 5 3 1

入力方向

担当者名

この調査は、農林水産省で実施している木材統計調査の一環として行うものであり、木材生産についての実態を把握して林業行政の基礎資料を作成することを目的としています。
この調査票は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。

法人番号（法人番号を確認いただき、記入してください。）

記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

・記入には濃い黒い鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
・間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

（この欄は農林水産省で記入します。）

調査年	調査月	都道府県等	管理番号	工場番号	階層等番号 全数	階層等番号 標本 I	階層等番号 標本 II	階層等番号 標本 III
20								

単位：m^3

月初手持ち製材用素材在庫量 → 01
月初手持ち材製材品在庫量 → 02

1　製材用動力の出力数を記入してください。

出力数 → 11　kW

注　：製材用機械だけでなく、製材に関係のある機械の動力も含めてください。

2　製材用素材の入荷量を記入してください。

単位：m^3

素材入荷量① → 21
転売したもの・貸びきに出したもの② → 22
手持ち製材用素材入荷量 ① － ② → 23　A

注：1　①の素材入荷量には、製材するために工場土場に入荷した手持ちの素材（長さ180センチメートル以上のもので、輸入材については半製品を含みます。）で、そのうち貸びきを依頼された材や製材以外の用途に使うために入荷した素材を除いた数量を記入してください。
2　②の転売したもの・貸びきに出したものには、前記②の素材入荷量のうち、都合によって素材のまま転売したもの及び他の工場に貸びきを依頼した素材の量を記入してください。
なお、大径木を製材（製材品にはしない。）にするだけの貸びきは、貸びきとして扱わないので含めないでください。
3　手持ち製材用素材の入荷量には、上記①の素材入荷量から②の転売したもの・貸びきに出したものを差し引いて記入してください。

3　製材用素材の消費量を記入してください。

単位：m^3

合計 → 31
手持ち材消費量 → 32
貸びき材消費量 → 33　B

注　：大径木を他の工場で製材にさせたものを、自工場でさらに製材機にかけて製材した場合は、手持ち材消費量としてください。

4　樹種別に製材用素材の入荷量を記入してください。

単位：m^3

合計（A＋B） → 41
国産材計 → 42
うち針葉樹 → 43
うち広葉樹 → 44
輸入材計 → 45

注　：2の製材用素材入荷量のうち、手持ち製材用素材入荷量A と、3の製材用素材消費量のうち貸びき材消費量Bとの合計について、国産材（針葉樹・広葉樹別）・輸入材別に記入してください。

5　製材用素材の月末在庫量を記入してください。

単位：m^3

月末在庫量 → 51

注　：月末現在で工場土場に残っている製材用素材のうち手持ちのものについて記入してください。貸びきを依頼された素材や製材以外の用途に使うために、一時的に工場土場にある素材は除いてください。

6　製材品について記入してください。

単位：m^3

生産量 → 61
出荷量 → 62
月末在庫量 → 63

注：1　生産量については、手持ちの製材用素材から製材した製材品と、貸びきを依頼されて製材した製材品の両方を加えて記入してください。
2　出荷量には、手持ち材による製材品で、その月に販売したもの及び貸びきを依頼した製材品の数量に、貸びき材による製材品の生産量を加えて記入してください。
3　在庫量には、月末現在で工場の製材品在庫量を記入してください。ただし、貸びき材による製材品は除いてください。

7　今後2か月における製材用素材の消費見込量を記入してください。

単位：m^3

＿＿月 → 71
＿＿月 → 72

注　：貸びき見込量も含めて記入してください。

（備考欄）　主な調査項目の増減理由があれば記入してください。

御協力ありがとうございました。
月　日までに下記宛てに送付してください。

別記様式第3号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
木材統計

平成　年　木材統計調査

合単板月別調査票

平成　年　月分

地方農政局等名	
工場番号	

担当者名	
担当者の電話番号	

この調査は、農林水産省で実施している木材統計調査の一環として行うものであり、木材生産についての実態を把握して林業行政の基礎資料を作成することを目的としています。
この調査で得られる調査結果を外に漏らしたり調査等の資料に用いることは、法律で固く禁止されており、他に漏らすことはありませんので、是非ありのままをご記入願います。

1　単板製造用素材について記入してください。

単位：m^3

区分	月初在庫量	入荷量	消費量	月末在庫量
合計				
国産材				
外材				

（注）素材の販売量は、入荷量から差し引いてください。

2　普通合板について記入して下さい。

単位：m^3

区分	月初在庫量	入荷量	生産量 6mm未満	生産量 6～12mm未満	生産量 12～24mm未満	生産量 24mm以上	生産量 合計	出荷量	消費量（特殊合板用）	月末在庫量 計	月末在庫量 普通合板用	月末在庫量 特殊合板用
合計												
ベニヤコア合板												
うち、針葉樹												
うち、構造用合板												
特殊コア合板												

3　普通合板のうち、次の品目の生産量を記入して下さい。

単位：m^3

コンクリート型わく用合板		構造用合板
	うち、針葉樹	

（注）各品目は、それぞれ普通合板の内数として記入してください。

4　特殊合板について記入してください。

単位：m^3

月初在庫量	生産量	出荷量	月末在庫量

（備考）主な調査項目の増減理由について記入してください。

注：1　入荷量には、購入又は自社他工場から受け入れた量を記入してください。
2　生産量には、自工場分のみ記入し、自社他工場分等は入れないでください。
3　出荷量には、出荷先がどこであっても自工場から一旦搬出された普通合板のすべてを記入してください。
4　月末在庫量には、自工場内の在庫量のみを記入してください。
5　単位未満は四捨五入して記入してください。
6　普通合板
（1）消費量（特殊合板用）には、自工場での消費量のみを記入し、自社他工場分は入れないでください。
（2）針葉樹には、全針葉樹合板のみを記入し、複合合板は除いてください。

御協力ありがとうございました。　月　日までに下記あてに送付してください。

別記様式第2号

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
木材統計

平成　年木材統計調査

製材月別調査票

（平成　年　月分）

4 5 3 1

入力方向

担当者名	
担当者の電話番号	

この調査は、農林水産省で実施している木材統計調査の一環として行うものであり、木材生産についての実態を把握して林業行政の基礎資料を作成することを目的としています。
この調査で得られる調査結果を外に漏らしたり調査等の資料に用いることは、法律で固く禁止されており、他に漏らすことはありませんので、是非ありのままをご記入願います。

記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

・記入には濃い黒い鉛筆を使用して下さい。
・間違いは消しゴムできれいに消して下さい。

（この欄は農林水産省で記入します）

調査年	調査月	都道府県等	管理番号	工場番号	階層等番号 全数	階層等番号 標本 I	階層等番号 標本 II	階層等番号 標本 III
20								

単位：m^3

月初手持ち製材用素材在庫量 → 01
月初手持ち材製材品在庫量 → 02

1　製材用動力の出力数を記入してください。

出力数 → 11　kW

注　：製材用機械だけでなく、製材に関係のある機械の動力も含めてください。

2　製材用素材の入荷量を記入してください。

単位：m^3

素材入荷量① → 21
転売したもの・貸びきに出したもの② → 22
手持ち製材用素材入荷量 ① － ② → 23　A

注1：①の素材入荷量には、製材するために工場土場に入荷した手持ちの素材（長さ180センチメートル以上のもので、輸入外材については半製品を含みます。）で、そのうち貸びきを依頼された材や製材以外の用途に使うために入荷した素材を除いた数量を記入してください。
2：②の転売したもの・貸びきに出したものには、前記②の素材入荷量のうち、都合によって素材のまま転売したもの及び他の工場に貸びきを依頼した素材の量を記入してください。なお、大径木を製材（製材品にはしない。）にするだけの貸びきは、貸びきとして扱わないので含めないでください。
3：手持ち製材用素材の入荷量には、上記①の素材入荷量から②の転売したもの・貸びきに出したものを差し引いて記入してください。

3　製材用素材の消費量を記入してください。

単位：m^3

合計 → 31
手持ち材消費量 → 32
貸びき材消費量 → 33　B

注　：大径木を他の工場で製材にさせたものを、自工場でさらに製材機にかけて製材した場合は、手持ち材消費量としてください。

4　樹種別に製材用素材の入荷量を記入してください。

単位：m^3

合計（A＋B） → 41
国産材　計 → 42
　針葉樹 → 43
　広葉樹 → 44
外材　計 → 45
　南洋材 → 46
　うち、ラワン材 → 47
　米材 → 48
　北洋材 → 49
　ニュージーランド材 → 50
　その他 → 51

注　：2の製材用素材入荷量のうち、手持ち製材用素材入荷量A と、3の製材用素材消費量のうち貸びき材消費量Bとの合計について、国産材・外材別、樹種（種類）別に記入してください。

5　製材用素材の月末在庫量を記入してください。

単位：m^3

月末在庫量 → 61

注　：月末現在で工場土場に残っている製材用素材のうち、手持ちのものについて記入してください。貸びきを依頼された素材や製材以外の用途に使うために、一時工場土場にある素材は除いてください。

6　製材品について記入してください。

単位：m^3

生産量 → 71
出荷量 → 72
月末在庫量 → 73

注1：生産量については、手持ちの製材用素材から製材した製材品と、貸びきを依頼されて製材した製材品の両方を加えて記入してください。
2：出荷量には、手持ち材による製材品で、その月に販売したもの及び貸家業務用に消費した製材品の数量に、貸びき材による製材品の生産量を加えて記入してください。
3：在庫量には、月末現在で工場の製材品在庫量を記入してください。ただし、貸びき材による製材品は除いてください。

7　今後2か月における製材用素材の消費見込量を記入してください。

単位：m^3

＿＿月 → 81
＿＿月 → 82

注　：貸びき見込量も含めて記入してください。

（備考欄）　主な調査項目の増減理由があれば記入してください。

ご協力ありがとうございました。
月　日までに下記あてに送付してください。